

令和４年度 黒磯高等学校学校評価結果

評価基準 達成できた…A 概ね達成できた…B あまり達成できていない…C 達成できていない…D

令和４年度 重点目標	1 ICT機器等を活用した学習活動と家庭学習の充実
	2 総合的な探究の時間の充実
	3 自己指導能力の育成と特別活動の充実
	4 校内美化の徹底
	5 well-beingに基づく学校づくりの推進

部・学年	取組	達成状況・次年度への課題	評価	評議員、PTAからの意見 ＜＞内は学校側の回答
教務部	＜学校評価設定項目＞ ○校務支援システムの本格稼働とタブレットの効果的な活用 …重点目標 1, 5 より	○校務支援システムの職員研修を実施し、1 学年の成績処理、指導要録作成、朝の打ち合わせでの利用など本格稼働できた。タブレットに関してはTeamsによるオンライン会議の実施や職員会議での活用が促進された。Wi-Fi環境に不安は残るが、各教科において授業での活用も多く見られるようになった。	B	○昨年8月の1日体験学習の参加者（中学生487名参加）は多数いたにもかかわらず、入試の際の志願者数は年々減ってきている。中学生によりアピールように、内容を工夫した方が良い。（評議員） ○学校評価を実施して公開するまでは良いが、改善に生かしていけるのか。課題が明確になった点は学校全体で問題意識を共有し、解決に向けて努力してほしい。Classiの活用や家庭学習時間を増やすためには、学校側の理屈だけでなく、生徒の意見を聞くことも必要ではないか。（評議員）
	＜その他の課題・取組＞	○生徒のタブレットの活用がまだまだ不十分である。職員会議等で各教科の活用報告を行い、全職員で活用方法を共有する機会が必要だと考える。また、学習支援アプリにタブレットを用いて毎日ログインするなど使用の習慣化が必要だと考える。学習支援アプリの効果的な活用のために、校務分掌内に係を設けることも検討してよいのではないか。		
学習指導部	＜学校評価設定項目＞ ○オンライン授業への対応、タブレットとclassiの活用 …重点目標 1 より	＜オンライン授業＞オンライン授業実施のハードルを下げるため、普段の授業をそのまま配信できるように、ズーム機能付きのWebカメラと配信用のタブレット端末を準備する。 ＜classi活用＞「学びの保障」のために導入したので、一層活用できるよう生徒を督促する。	B	○STEAM教育のメリットはあるのか。単に指定されて、期間中に実施されたというだけでは意味がない。予算を割いて、実践したからには実のあるものにしてほしい。（評議員） ○座学だけではなく、地域に生徒を送り出し、地域との連携を進めてほしい。黒磯の中心地は人口が減少している。ぜひ、この黒磯高校が地域活性化の起爆剤となしてほしい。（PTA） ○今年から18歳成人となったが、3年生の主権者教育・消費者教育が2学期と、少し遅かった気がする。契約トラブルなどが起きないよう、早めの指導をお願いしたい。（PTA） ○0限がなくなったのは良いが、学力向上や学習時間確保のため、代わるものが必要ではないか。0限に相当するものを放課後実施してもよいのではないか。（PTA） ○1, 2年生も放課後に課外などを週2, 3日実施してもよいのではないか。（PTA） ○文武両道。学習と部活動の両立を目指してほしい。（PTA）
	＜その他の課題・取組＞	＜総探について＞プリマの全面的な協力を得て、計画を作成し実施しました。やってみてわかることも多く、係レベルでの対応では、手が回らないところがありますので、次年度はSTEAMの件と合わせ部署や委員会として企画運営をすべきと思います。		
生徒指導部	＜学校評価設定項目＞ ○LHR等を活用した、「多様性の尊重」に関することの理解 …重点目標 3, 5 より	○総探やLHRを活用した講話（人権に関する、性に関する等）を通し理解を深めることができた。	B	○男女別の制服とはどうか。（評議員） ＜LGBTQへの配慮から男子の詰襟や女子のリボンなどを廃止し、上着はブレザー、ネクタイ着用など男女統一した制服への変更も検討する必要がある＞
	＜その他の課題・取組＞	○男女別になっている制服を今後どうしていくか検討する必要がある。		○ヤングケアラーについて、当該生徒が自覚し、早期に援助を求められるよう、早めに生徒向けの講話等を行ってほしい。（PTA） ○若者のSNSへの動画投稿が社会的な問題になっている。道徳的な面も含め、SNSの使い方について繰り返しの指導をお願いしたい。子供たちに人生を棒に振る危険性があることを理解してほしい。（PTA） ○来訪者に対し、挨拶ができない生徒が多い。挨拶は社会人として最も重要である。挨拶ができるよう指導をお願いしたい。（PTA）

部・学年	取組	達成状況・次年度への課題	評価	評議員・PTAからの意見
特別活動部	<学校評価設定項目> ○生徒の自主的な諸活動を活性化するための支援体制の実現 …重点目標3、5より	○コロナ感染状況により学校行事の制約もあったが、代替行事の実施や在り方・運営方法の模索などに苦労しながらも実施できたことが多かった。特に生徒会担当に多くの負担をかけてしまったことは反省点である。生徒会役員の活動が意欲的であることに救われているので、自主的な諸活動を支援する姿勢を大切にしたい。	B	○部活動加入率が低下しているが、より魅力度を高めるために部活動を新設したらどうか。(評議員) ○部活動の活動が、進路決定につながらないのなら、そこまで部活動の加入率を気にしなくても良いのではないのか。(評議員) ○部活動を新設できるのか。(評議員) ＜可能であるが、教員数も限られており現状は厳しい＞ ○黒磯高校は勉強、勉強というイメージがあり、それが受験生離れにつながったのではないのか。何か、勉強だけでない特色を打ち出せるとよい。(PTA) ○学校の特色として、他校にないような部活動、全国大会に出場できるような部活動があると学校のPRになるのではないのか。(PTA)
	<その他の課題・取組>	○係や担当に負担をかける場面が多かったので、係内や関係部門との情報共有や連携を進める必要がある。 ○会計の引き継ぎ(数年分)をしっかりと行いたい。		
健康指導部	<学校評価設定項目> ○整備委員会活動の活発化による、校舎内外の整備・美化と機能的学校環境の実現…重点目標4より	○毎月の整備委員会による美化点検の強化や点検方法の工夫、整備委員による校内美化の呼びかけなどにより、2学期途中までは改善が見られた。2学期後半は廊下や階段などに埃が目だったり、清掃時間に早めに下校する生徒が見受けられた。	B	
	<その他の課題・取組>	○職員向けの心肺蘇生法講習会が、新型コロナの影響で3年連続で実施できなかった。次年度は実施方法を工夫するなどして開催したい。		
進路指導部	<学校評価設定項目> ○計画的に学習に取り組み進路実現を図る。…重点目標2、5より	○定期テスト前に自主学習室で居残り学習していた。 ○classiを活用した課題の配信をして、学習に取り組んでいた。その逆の意見もあった。 ○家庭学習時間を増加させる取り組みを学校全体で行う必要がある。 ○3年生は12月から年末年始に学校開放を行い受験勉強に取り組んだ。	B	○今年度は進路行事の多くをオンラインで実施したとのことだが、次年度はどうするのか。(評議員) ＜次年度はすべて対面で実施予定である＞ ○奨学金を希望する生徒はどれくらいいるのか。(評議員) ＜さまざまな種類の奨学金があるが、約半数の生徒が希望している＞
	○SDGsや社会的諸問題など探究活動を通して体系的に進路探究に取り組ませる。…重点目標2、5より	○steam教育の研究指定校になり、具体的に進路探究が始まった。進路探究として、職業人による講話や大学出張講義、進路ガイダンスなどを行ったが、今後、探究活動にテーマをあてた講話などを計画していきたい。	B	
	<その他の課題・取組> (各係)○校外模試の分析を各学年で実施できた。今後、過年度及び過去回、他校比、成績上位者などを載せるとよいのでは。 ○奨学金の申し込みについて係と学年との連携が適切に行われ、滞りなく行えた。 ○今年度就職希望者が3人いたが、手続等滞りなく行えた。 (その他)○校外模試の分析について、それがどのように授業改善につながったのか、また、それを指導にどのように取り入れ、どのような成果があったのか言及する必要がある。 ○志望校検討会の在り方について、勤務時間を大幅に超過しているので、効率的な進行や議題の精選、開始時間を検討しては。 ○総合型・学校推薦型希望者が年々増加しており、現在の小論文・面接の指導体制では回らなくなっていると感じる。総合型選抜と学校推薦型の趣旨を踏まえて指導方法を検討してはどうか。加えて、遅刻・早退・欠席が多く、特別活動等実績がない、推薦に相応しいとは言えない生徒も推薦が認められていると感じる。改めて推薦基準を検討してはどうか。 ○学習効果を上げるためには、課題の見直しが必要ではないか。量より質が大切である。 ○模試監督は学年全員でお願いしたい。			
渉外部	<学校評価設定項目> ○特別活動の支援とPTA活動の活性化…重点目標3、5より	○学校祭の巡回・駐車場整理や長距離走大会の補助食配付・立哨指導等に多くの方のご協力をいただいた。 ○PTA研修を進路部と連携して実施し、保護者の方からは大変好評だった。 ○事務局と保護者間の連絡等に一部不備があった。余裕を持った連絡調整・連携を行いたい。	B	
	<その他の課題・取組>	○広報委員会等の進行状況を係内で共有し、連携してスムーズに取り組めるようにしたい。 ○百周年の沿革資料に不足があった。学校資料の保存を計画的に行う必要がある。		

部・学年	取組		評価	評議員・PTAからの意見
1 学年	<学校評価設定項目> ○基本的生活習慣の確立と自主学習の習慣化…重点目標 1、3 より	○怠学傾向の生徒は少なく、出席状況も良好であり、概ね基本的生活習慣は確立できていると言える。一方、自主学習の習慣化については、10月家庭学習時間調査の結果が平日1.1時間、休日1.6時間と少なく、定着できていない生徒が多い。継続して家庭学習時間を増やす指導に力を入れたい。	B	
	○特別活動の充実…重点目標 3 より	○年度初めの部活動加入率が1年59.4%、2年67.0%、3年75.3%であった。年度途中から部活動に加入した生徒や、生徒会役員となった生徒もいたが、部活動加入率を増やす指導に関しては、不十分であった。学校祭等の行事については、級友と協力して積極的に取り組む様子が見られた。	C	
2 学年	<学校評価設定項目> ○ICTを活用した自主的な学びや探究活動の充実…重点目標 1、2 より	自主的な学びは、調べ学習ならば活用している生徒もいるが、Classiの学習動画については、こちらが配信しても視聴していない者も多くいる。そもそも生徒が家庭学習に取り組める時間がどれだけあり、既に各教科の宿題や予習等でどれだけ埋まり、どれだけ自主学習に励む時間が確保されているのかを把握する必要がある。学級担任は面談を通して生徒の家庭学習状況の把握に努めているが、学習指導部の積極的な関与が必要だと思う。 探究活動においては、本来なら既に1年間、3年間の計画が存在するはずだが、その準備を怠っていたのは、学年レベルの問題ではなく、学校全体の問題である。次年度は学校全体が組織的に探究活動に取り組めるように体制づくりが不可欠であると思う。さらに実施してみても課題としては、テーマ設定にもっと時間を確保することと、学年ごとで職員の校内研修を行うことだと思う。	B	
	○学習環境の整備と清掃の徹底…重点目標 4、5 より	・ロッカーの上をちらかしたままの状況が時々見られた。 ・教科連絡や校内外の行事、進路関係の連絡など掲示物が大変多く、結果として教室の黒板が掲示物で埋まってしまっていると感じる。最低限、教室全面には何も掲示物を貼らないなどの工夫が必要。 ・中学校に近いクラスは、体育館を使用した行事や授業でのマイク、音楽の使用の影響を大きく受け、必ずしも良い学習環境とは言えない。	B	
3 学年	<学校評価設定項目> ○進路実現に向けた面談指導の充実…重点目標 5 より	面談週間中以外にも生徒の状況に応じて、各クラス担任が面談を実施した。進路目標の設定や、出願や受験の準備など、生徒に対して支援することができた。	A	
	○清掃指導の徹底。私物管理の徹底…重点目標 4 より	教室内やロッカーの上に私物が置かれることなく、私物の管理が概ねできていた。しかし、模試や定期試験の後、すぐに私物を整理させることができず、何日かそのままになっていることがあった。	B	
	<その他の課題・取組>	早い時期から総合型選抜を希望する生徒が増えてきたため、担任を中心とする指導だけでは、指導時間の確保が難しくなってきた。		